

編集後記

私事ながら、勤務先大学内での職務が変わり、本紙「社会医学研究」の編集業務を円滑に行うことが困難になり、本号の編集作業に大きな支障をきたしてしまいました。大変申し訳ありません。2007年内の発刊を目指していましたが、とうとうこの時期まで遅れてしまいました。なんとか「年度内」という言い訳ができる範囲内の遅れであればと願っています。

Publish or perish ということばは、けっして好きではありませんが、大学というところに身を置いている限りは、無視するわけにはいきません。実際、研究すること自体は好きだし、早いけれども、論文を書くことはきわめて遅いという人がいることは知っています。しかし、誤解を恐れずに言えば、論文を書けるように研究を出来ない人は、やはり良い研究者とは言いがたいと思うのです。勿論、論文化を意識しすぎるあまり、データの捏造は言語道断だとしても、研究テーマを狭く絞りすぎて、論文にはなったものの社会には何のインパクトも与えない内容の浅いものになってしまうというのも問題だとは思いますが。それにしても、論文にしないで社会影響がゼロのままより、幾分かはインパクトを与えるかも知れない分だけ、論文化することに意味はあると言えるでしょう。

書き上げた原稿はできるだけ早く印刷され、公表されたいものです。投稿から査読、発刊までの時間は短いほど喜ばしいものです。そんな雑誌なら、論文を書き上げたと同時に、気軽に投稿も出来ると言うものでしょう。本誌の発刊の迅速化（その結果として複数号発刊）は本当に必要です。そんな思いを引き継いでいただける方に、編集長の重責をお願いしたいと思っています。

社会医学研究編集委員長

山田 裕一

査読者一覧

久永直見

山田裕一

石崎昌夫

千田忠男